

# 萱瀨小だより



## やさしさ ゆめ げんき

令和3年12月13日  
No. 17  
文責 福永琢也

### ☆日常で見られる萱瀨小の文化

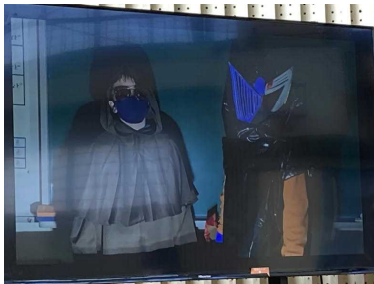
萱瀨小学校では、毎日の掃除を始めとして縦割りで活動することがたくさんあります。その中では高学年がグループをリードして活動しています。先日も後に書いています「人権集会」が行われました。その中で縦割り班の活動が行われました。「廊下は静かにあるくよ!」「部屋に入るときは失礼します!」こんな声を掛けながら、高学年が低学年をリードしてくれています。低学年の子もそれに素直に従い楽しそうに活動していました。

上の子が年下の子のお世話をするということが日常的に行われている萱瀨小学校。このことは「萱瀨小のすばらしい文化だなと」いつも感心しています。萱瀨小学校の子どもたちは「自覚」「善悪の判断」「思いやり」などなど、心の根が育っています。今後も大切に育てていきます。

### ☆怪人エノキックスの挑戦状

12月4日～10日は「人権週間」です。萱瀨小学校でも「人権集会」を行いました。体育館に縦割り班で集まるとモニターから「怪人エノキックス」からの挑戦状の映像が流れました。「萱瀨小の子どもたちの権利をもらった!」「取り返すには校内に隠されたヒントを探せ!」というもので、縦割り班で各教室に設定されたクエストを解決し、ヒントを探す出せば、それを取り戻すことができるという内容でした。どのグループも目的達成のために、仲よく協力しながらクエストに挑戦していました。ちなみに校長室でのクエストは「90秒の間に全員がじゃんけんで勝利する」というものでした。最後にエノキックスを倒す最後のじゃんけん対決となり、どのグループも「チョキを出す」という解答を見つけ、見事にエノキックスを倒すことができました。

この人権集会で学習して欲しかったことは「協力」です。どのグループも実際の行動や言葉掛けから見事に目的を達成することができました。



### ☆身近なものになりつつあります

12月10日は、学校薬剤師高橋先生をお招きし、6年生を対象とした「薬物乱用防止教室」を行いました。保健の授業でも扱うものですが、今回はプロである薬剤師さんに薬物に特化した内容でお話いただきました。「薬物乱用」という言葉からは、

すごい頻度で使うようなイメージとなりますが、たった1回使用しただけで「乱用」となります。また、近年は高校生や大学生が長崎県で手に入れてという事案も起こっています。ニュースに出てくる特別のではありません。だからこそしっかりと知識をもっておくことが大切となります。それにより自分近寄ってきた際に毅然とした対応をとることにつながります。

